

寒川文書館だより

Vol. 20



大日本細見道中記（福井県文書館蔵）

■第20号目次■

- 資料紹介「旅行案内書に登場する一之宮の旅籠」 2
- 企画展「相模線 駅ものがたり」 3
- 神輿まつりに出展／絵はがき集「一之宮の風景」 3
- 広域連携事業「茅ヶ崎と寒川の大山道」 4
- 学びの夏！ 研修の夏！ 6

第20号
2016.9.30
寒川文書館

<資料紹介> 旅行案内書に登場する一之宮の旅籠

「大日本細見道中記」(福井県文書館所蔵)

藤沢の四ツ谷から寒川町内を横断する田村通り大山道は、かつて大山参詣の人々で大変賑わい、沿道の一之宮村には参詣者相手の旅籠屋や茶店が軒を連ねていた。天保14年(1843)の「農間商人名前取調書上控帳」(入沢章氏所蔵)には、松戸屋、富田屋、高砂屋という旅籠屋が記載されているが、この三軒の旅籠屋は江戸時代や明治時代の旅行ガイドブックにも掲載されている。

表紙の史料は、嘉永4年(1851)刊行の『大日本細見道中記』という旅行案内書で、松戸屋が掲載されている。これは浪花講・東国組などの複数の旅宿組合が合同で刊行したものといわれる。東海道はもちろん全国の主要街道、三都案内などで構成され、道筋に添って順次案内し、宿駅・里程、名所・旧跡、駄賃などの基本情報、組合指定の旅籠と休憩所が掲載されている。松戸屋は「東海道藤沢南湖の間大山石尊より道了権現(大雄山)参詣小田原迄」の経路で、「一之宮 松戸屋 重兵衛」として登場する。名前の上にある「●」が旅籠屋、「▲」が休憩所の印で、ほかに次の田村までの距離や田村の渡しの渡船賃が記載されている。

松戸屋があった場所は一之宮村のほぼ中央、現在の南部文化福祉会館から交差点を挟んだはず向かいの辺りである。付近には大山道が花川用水を越える松戸橋があった。松戸屋には富田屋とともに治安維持を目的とした村落連合組織である一之宮村寄場組合の会所(事務所)が置かれ、組合活動の拠点として政治的な役割を担っていた。関東取締出役や火付盗賊改方の役人が立ち寄ったり、捕

らえられた犯罪者を入れる牢屋が設置されていたことが複数の史料から確認できる。

つづいて富田屋と高砂屋は、明治10年(1877)刊行の『大山報徳集成敬慎講社定宿』という大山参詣者のための定宿帳に掲載されている。これは、明治時代の神仏分離以後、各地の大山講を結集して設立された大山報徳敬慎講社が刊行したものである。関東各地の大山道やその周辺の道案内で、やはり道筋に添って順次案内し、宿駅・里程、講社指定の旅籠が記載されている。

富田屋と高砂屋は「大山より東海道並長後通り東京迄」つまり、田村通り大山道と柏尾通り大山道のルートで、「とみだや藤兵衛」、「たかさごや五郎兵衛」と掲載されている。富田屋は東海道から来ると一之宮の入口にあった。参詣者相手の両替業を行ったり、寄場組合の会所が置かれるなど、松戸屋同様、旅館業の他に様々な役割を担っていた。昭和の初め頃まで旅館を営業していたが、参詣者が減少して宿泊客が減ってからは料亭として営業した。また、その並びにあった高砂屋は、大正10年(1921)頃まで旅館を営業したが、大正12年の関東大震災で間口15間程の建物は蔵とともに壊れてしまう。その後は煙草屋や菓子屋などに商売替えしていった。

<参考文献>

- ・「旅行案内書の成立と展開」山本光正
(『国立歴史民俗博物館研究報告』第155集 2010.3)
- ・『道中記集成』第40巻 今井金吾監修 大空社 1997.12
- ・『伊勢原市史 資料編続大山』1994

(鳥養圭美)

第21回企画展 相模線 駅ものがたり

寒川駅開業95年、倉見駅開業90年を記念し、寒川町内に現在ある駅（寒川・宮山・倉見）とかつて存在した駅（西寒川・四之宮・川寒川）について、それぞれのプロフィールやエピソードを、さまざまな資料で紹介しました。JR東日本のイベント「駅からハイキング」のコースにも入れていただき、この展示で予習をしてから歩き始めるという位置づけにしてもらったため、より多くの来館者がありました。



倉見駅（昭和39年）

寒川駅橋上駅舎記念切符（昭和60年）



西寒川駅廃止に関する公文書（昭和58年）

会期：平成28年3月13日（日）

～6月30日（木）（91日間）

展示説明会：3月19日（土）（5名参加）

協力：寒川町観光協会、東日本旅客鉄道㈱

神輿まつりに出展

7月18日、茅ヶ崎の海岸で浜降祭の神事を終えた寒川町域の神輿4基が寒川駅前公園に集結する「神輿まつり」が開催されました。昨年開催の浜降祭に関する講演録を載せた『寒川町史研究』第28号のPRのためのブースを設け、普及に努めました。



絵はがきシリーズ第7集

一之宮の風景

9月1日、昭和30～40年代の一之宮の風景をまとめた絵はがき集を発行しました。学校、神社、街角など懐かしい風景を収録しました。

仕様：8枚組、解説書付、封筒入り

価格：1組 500円



茅ヶ崎と寒川の大山道

平成26年度から茅ヶ崎市・寒川町広域連携事業の「歴史・文化財等普及事業」が始まり、平成27年度からは両市町に共通の歴史的素材をテーマに展示を開催しています。2回目となる今回のテーマは、両市町を横断する「田村通り大山道」としました。展示は茅ヶ崎市文化資料館と寒川文書館でそれぞれ開催し、講演会を合同開催しました。

会 期：平成28年7月16日(土)～8月28日(日) 講演会：平成27年7月30日(土)

*この事業は(公財)神奈川県市町村振興協会の市町村広域行政助成事業の助成を受けて実施しました。

寒川文書館第22回企画展

「田村通り大山道を歩く」

伊勢原市の大山は、古来より信仰の対象として崇敬されてきました。特に江戸時代は、大山講が組織され、各地から多くの人々が大山を目指しました。その参詣に使われたのが大山道で、なかでも藤沢の四ツ谷から入り茅ヶ崎市と寒川町を横断する「田村通り大山道」は最も賑わったルートの一つとされます。本企画展では、古文書や絵図、浮世絵、写真などの資料を用いて、この道の概要や果たしてきた役割、沿道の史跡などを紹介しました。

<展示構成>

- I 大山信仰と大山道
- II 田村通り大山道
 - 田村通り大山道とは 沿道のにぎわい
 - 参勤交代の道 田村の渡し
- III 寒川町内の大山信仰
- IV 写真に残る風景
- V 道沿いの史跡



一之宮・大山道のにぎわい
昭和15年(1940)頃 (広田泰江氏蔵)



田端の大山灯籠



河原不動堂前の大山道標とカ石

茅ヶ崎市文化資料館企画展

「地図と写真でみる茅ヶ崎の大山道」

茅ヶ崎での展示は、「田村通り大山道」をはじめとした大山へ向かう道やその信仰について地図や写真資料を中心とした展示でした。この道の起点である四ツ谷宿のジオラマや、大山寺の厄除け札なども紹介されていました。



講演会「茅ヶ崎と寒川の大山道」

7月30日(土)、寒川町の南部福祉会館において、展示関連の講演会を開催しました。62名の方に参加いただきました。

- 「大山信仰と大山道」
松岡 俊氏（産業能率大学教授）
- 「大山街道とエコツーリズム」
海津ゆりえ氏（文教大学教授）



映像上映会「茅ヶ崎と寒川の大山道」

8月20日(土)、本事業の関連企画として大山道をテーマとした茅ヶ崎市・寒川町の広報番組の上映会を開催し、26名の方に参加いただきました。

- 「参拝の道 大山道を旅する」(2008年 茅ヶ崎市広報番組)
- 「大山街道を歩く」(1991年 寒川町情報課制作)
- 「大山と寒川」(2001年 寒川町広報番組)



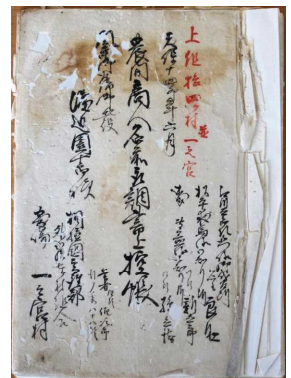
「大山街道を歩く」より

古文書講座 江戸時代の資料を読む「大山街道と相模川」

現在、第10回古文書講座(全6回)を開催しています。今回は企画展と関連させ、「大山街道と相模川」をテーマとしました。当館収蔵史料を中心に大山街道や相模川に関する古文書をテキストに用い、大山街道沿いの農間渡世、大山の御師と檀家、街道を通る人々(参詣者と参勤交代)などについて学んでいます。

※応募は終了しています。なお、終了回のテキストはご自由に閲覧いただけるよう書架上に置いてあります。

農間商人名前取調書上控帳(入沢章氏所蔵)▶



学びの夏！研修の夏！

平成28年7月から9月にかけて、大学の授業、大学・高校のインターンシップ、教員研修、小中学生向けの施設見学など、多くの方々が寒川文書館と寒川総合図書館を訪れてくださいました。このコーナーではこれらの皆さんの活躍ぶりをご紹介します。

■横浜国立大学の授業 7月6日



横浜国立大学教育人間科学部の日本史演習の授業の一環として、10名の学生が資料閲覧に来館しました。江戸時代の寒川をテーマに、古文書や刊行物を実際に閲覧しながら、課題を解決しようとする演習です。併せて一之宮の大山街道沿いの現地踏査も行いました。

■中央大学の施設見学 7月10日



現用文書の
ファイリングキャビネット

当館運営審議会委員である小川千代子氏の担当する授業「記録管理論」の一環で、受講生5名が施設見学に訪れました。まず地方公共団体のアーカイブズや当館の概要について説明しました。この授業では文書管理を学び、ファイリングデザイナー資格の取得を目指しているため、特に現用公文書のファイリングシステムについて時間をさいて解説しました。

■観光ボランティアガイド研修 7月12日



寒川町観光協会では観光ボランティアガイドの養成を行っており、今春は3人が新たにメンバーとして加わりました。その皆さんが研修の一環として文書館へ訪問。館の概要や所蔵資料の説明、ガイドに役立つ参考資料の解説、施設見学など盛りだくさんのプログラムで勉強していただきました。

■学習院大学アーカイブズ実習 7月19日～



学習院大学大学院アーカイブズ学専攻では、アーカイブズ機関での実習が必須科目となっています。今年は7月19日から23日まで、8月23日から27日までの計10日間の日程で学生1名を受け入れました。現用文書の管理替え、非現用文書の整理、講座の運営などさまざまな業務を体験してもらったほか、写真をテーマにしたミニ展示の制作を行いました。

■図書館・文書館体験ツアー 7月22日・29日



図書館と共催で、小中学生を対象に、両館のバックヤードを見学するイベントを開催しました。両日合わせて18名が参加しました。文書館では、収蔵庫内で各学校の成り立ちを示す公文書を見たり、マイクロフィルムの巻き替え作業を体験したりしてもらいました。

■小学校教員研修 7月29日・8月3日・12日



総合図書館では夏休みに教員の研修を受け入れています。今年は7月29・30日に茅ヶ崎市立梅田小学校、8月3～5日に藤沢市立白浜養護学校、8月11・12日に海老名市立門沢橋小学校の教諭各1名が図書館業務を体験しました。文書館も併せて見学してもらい、館の役割、資料保存の重要性などを説明しました。

■文教大学インターンシップ 8月2日～



8月2日から20日にかけての10日間、文教大学経営学部の学生1名をインターンシップとして受け入れました。非現用公文書の整理、民間資料のデータ入力、WEBサイトの更新など、さまざまな業務に挑戦してもらいました。この学生は「まちづくり」を研究課題としているので、地域の資料をまちづくりに活かすヒントを得てもらえたのではないかと思います。

■寒川高校インターンシップ 8月9日



県立寒川高等学校の生徒5名が、総合図書館のインターンシップとして、8月9日・10日に来館しました。図書館で資料整理などを体験するのに先立ち、文書館の施設見学を行いました。寒川高校ができる際に作成された用地買収や造成工事などの公文書を見てもらいながら、図書館と文書館の役割の違いなどについて説明しました。

■司書教諭研修 8月26日



町内の小中学校に1名ずつ置かれている司書教諭の研修に講師として招かれました。6年生の国語の授業で、寒川のパンフレットを作るという課題に対し、実際に児童からあったレファレンスの実例を紹介するとともに、教諭各自が調べ物の課題を設定して、文書館や図書館の資料を駆使して結果を報告し合うというワークショップを行いました。

■ジュニア司書講座 9月10日



小学生を対象に、資料整理、お話し会、展示などの業務を体験することで、司書のスキルを身につけようという総合図書館主催の講座です。7月から10月まで全6回の課程のうち、5回目の9月10日、文書館の施設見学を行いました。収蔵庫内で、江戸時代の古文書や明治時代の公文書の生の迫力を味わってもらうことで、資料の大切さを実感してもらうことができました。

今後の事業予定

■開館10周年事業

第23回企画展 「図書館・文書館10年のあゆみ」

平成18年(2006)11月3日、寒川総合図書館と寒川文書館が開館しました。今回の展示は図書館との共催で、両館の10年間の取り組みについて振り返ります。

会期：平成28年10月1日(土)～平成29年2月28日(火)

懐かし映像上映会

町広報番組の中から、図書館・文書館が開館した頃の映像を上映します。

日時：11月3日(木)午前10時～

場所：3階学習室

シンポジウム「アーカイブズでできる先祖調べ～ファミリーヒストリーのススメ～」

文書館資料を使って先祖を調べる方法などを他館の事例から学びます。

日時：10月30日(日)午後1時30分～

場所：3階学習室

報告者：森本祥子氏(東京大学准教授)

圭室文雄氏(明治大学名誉教授)

長佐古美奈子氏(学習院大学史料館)

越原啓介氏(寒川文書館利用者)

■平成28年度後半の事業予定

平成28年度後半は次の事業を実施する予定です。日時、会場、申込み方法など、詳しくは「広報さむかわ」、文書館のホームページ、チラシなどをご覧ください。

○文書館活用講座(全4回。11～2月の原則第4土曜)

編集後記

「寒川文書館だより」第20号をお届けします。本年7月から9月にかけて、企画展「田村通り大山道を歩く」と講演会を開催しました。これは昨年に引き続き、茅ヶ崎市・寒川町広域連携事業として茅ヶ崎文化資料館と共同で実施したものです。その関連企画として映像上映会「茅ヶ崎と寒川の大山道」を開催し、今年度の古文書講座のテーマも「大山街道と相模川」とするなど、今年前半は「田村通り大山道」づくしとなりました。そのほか、地域別の風景シリーズ絵はがき「一之宮の風景」を刊行しました。文書館はこの11月で開館10周年を迎えます。今後もこうした展示や刊行物を通じて、地域の情報を発信し続けていきたいと考えています。

利用案内

■開館時間

火曜～金曜日 午前9時～午後7時
土・日・祝日 午前9時～午後5時

■休館日

月曜日(国民の祝日にあたる場合は開館)
年末年始(12月29日～1月3日)
特別整理日(決まり次第お知らせします)

■交通のご案内

JR相模線 寒川駅下車 徒歩10分

寒川町コミュニティバス・

神奈中・相鉄バス 海老名駅～寒川駅線

「図書館文書館前」下車 徒歩1分

※なるべく公共交通機関か自転車、徒歩でお越しください。



寒川文書館だより 第20号

平成28年9月30日

編集・発行/寒川文書館

〒253-0106 神奈川県高座郡寒川町宮山135-1

TEL 0467-75-3691 FAX 0467-75-3758

ホームページ <http://www.lib-arc.samukawa.kanagawa.jp>

電子メール bunshokan@town.samukawa.kanagawa.jp